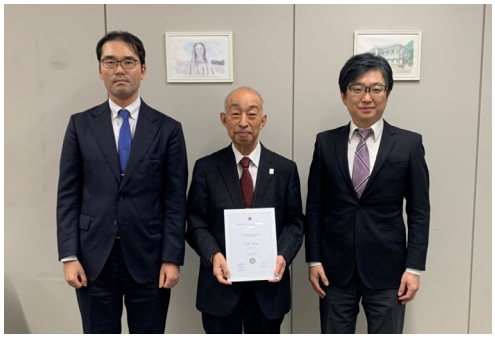
IEC 活動推進会議(IEC-APC)
IEC Activities Promotion Committee of Japan
APC ニュース第 191 号

2023 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

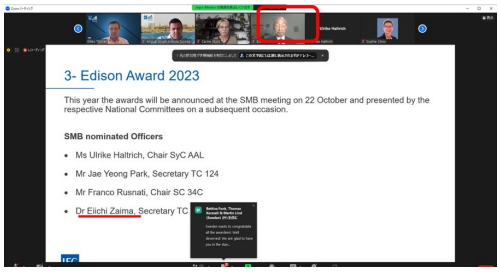
IEC TC 122 国際幹事
一般財団法人　電力中央研究所
財満　英一

2023 年 10 月~11 月に IEC 大会が開催されました。10 月 22 日に開催された標準管理評議会（SMB: Standardization Management Board）において、SMB 議長（IEC 副会長）の Mr. Vimal Mahendru 氏から 2023 年 IEC トーマス・エジソン賞を拝受いたしました。当初エジプトのカイロで授与式が予定されていましたが、中東情勢を考慮し、急遽、対面からリモートに変更されました。IEC トーマス・エジソン賞の表彰状は IEC より日本産業標準調査会に届き、後日経済産業省にて受け取りました。

このような権威のある賞をいただき大変光栄に思います。この賞は 2010 年に創設され、IEC の委員会の国際議長や国際幹事等のうち、委員会の効率的な運営を通じて顕著な成果を挙げた人物や、IEC に献身的なサービスや顕著な貢献をした人物に与えられるものです。今年は 4 名が受賞しました。私の受賞は TC 122（UHV 交流送電システム）の国際幹事としての貢献が評価されたものです。これも、ひとえに TC 122 国内委員会、経済産業省 国際電気標準課、国内審議団体である (一社)電気学会、IEC-APC 事務局の皆様、そして SMB 関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。



<経済産業省にて表彰状を受け取った
財満 TC 122 国際幹事（中央）>



<SMB 会議（バーチャル開催）の様子>

TC 122 は、UHV 交流送電システムの国際規格を作成しています。UHV （Ultra-High Voltage）交流送電システムは、長距離に大容量の電力を送電できる技術で、日本には十分な技術蓄積があります。

トーマス・エジソン賞を受賞したのは TC 122 の国際幹事としてですが、SMB 委員の方々は、TC 122 の発足前の、オールジャパンとして取り組んだ IEC の UHV 国際標準化活動の実績も評価して頂いたと思います。

UHV 国際標準化活動の第 1 ステップは、2007 年に始まった IEC の水平規格の UHV の標準電圧、変圧器などの個別機器の UHV 仕様の規格化です。私は CIGRE と協力して、IEC-CIGRE 合同の UHV 標準化推進グループ（JICCG）のメンバとして、規格作成を推進しました。この活動が TC 122 の発足に繋がりました。

UHV 国際標準化活動の第 2 ステップが TC 122 です。私が一番印象に残っているのは、この TC 122 を発足させ、日本が幹事国になった時のことです。幹事国に日本と中国の 2 カ国が立候補しました。2013 年にインドで開催された SMB 会議の場で、私が、第 1 ステップの日本が主導した活動実績をもとに国際的にバランスの取れた規格を作成するという新しい委員会の活動計画を説明し、SMB 委員の投票で過半数を取り、日本が幹事国になりました。

その後、TC 122 の国際幹事として 10 年間精力的に活動し、8 つの国際規格を発行し、現在 4 つの規格作成を進めています。

以上の成果は、特に国際副幹事の上原京一氏と白坂行康氏との協働によって初めて成し遂げられたものです。また、日高邦彦委員長を始めとする TC 122 国内委員会のみなさまのサポートに厚く御礼申し上げます。

今後も、IEC のさらなる発展に微力ながら尽力していく所存です。引き続き皆様からのご指導ご鞭撻を頂戴いたしたく何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

参考: IEC ホームページ ”IEC announces Edison Award winners”
https://www.iec.ch/blog/iec-announces-edison-award-winners